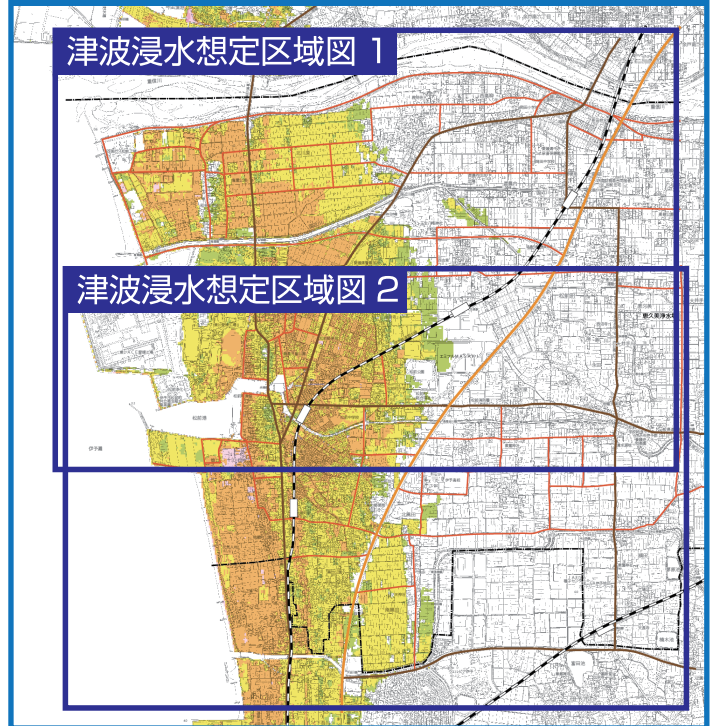


目次

● 目次・このマップについて	1P
● 緊急連絡先・指定避難所・集会所一覧	2P
● 津波マップ(津波浸水想定区域図 1)	3-4P
● 津波マップ(津波浸水想定区域図 2)	5-6P
● 津波到達シミュレーション	7-8P
● 南海トラフ巨大地震	9P
● 津波のしくみ・津波警報	10P
● わがまちはわが手で守る・応急処置	11-12P
● 情報伝達・情報の入手先	13P
● 災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板	14P
● 非常時持ち出し品・わが家の防災メモ	15P

図面の配置



このマップについて…

松前町では、東日本大震災の教訓を踏まえ、南海トラフ巨大地震の津波に関し、愛媛県が平成25年6月に公表した被害想定調査結果をもとに、松前町総合防災マップ(津波編)を作成しました。このマップは、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」での町内の浸水深や津波が到達する時系列のシミュレーションを示し、『避難を基本』とした減災に活用できる内容となっています。

津波から身を守るためには、とにかく避難

① 揺れたら逃げる

地震が発生した瞬間から、津波は海岸に向かってきています。大きな揺れや長い揺れを感じたら、1秒でも早く津波からの避難を開始しましょう。周りの人もつられて避難するよう「率先避難者」になってください。

② 津波の規模は最悪を想定する

津波浸水想定区域に入っていないからといって安心してはいけません。東日本大震災では、発表された予測津波高を信じ、逃げ遅れて犠牲となったケースがあります。津波の規模を過小評価せずに、最悪を想定して行動しましょう。

③ 避難は「東側」もしくは「高い」場所

松前町の地盤は東に向いて緩やかに高くなっています。まずは、国道56号線より東側の津波浸水想定区域外を目指して避難しましょう。もし、逃げ遅れてすぐ近くまで津波が来てしまった場合は、近くの大きな建物などの「高い」場所に逃げ込みましょう。その場合でも、できるだけ海岸から離れた建物を選ぶのが賢明です。

④ 「避難に車は使わない」

原則、車で避難するのはやめましょう。渋滞により避難ができなくなる恐れがあります。北海道南西沖地震(1993年)の際、奥尻島では車で避難しようとした人たちが続出し、狭い道路が渋滞しているときに津波に襲われ、車ごと津波に飲み込まれ多くの犠牲者を出しました。